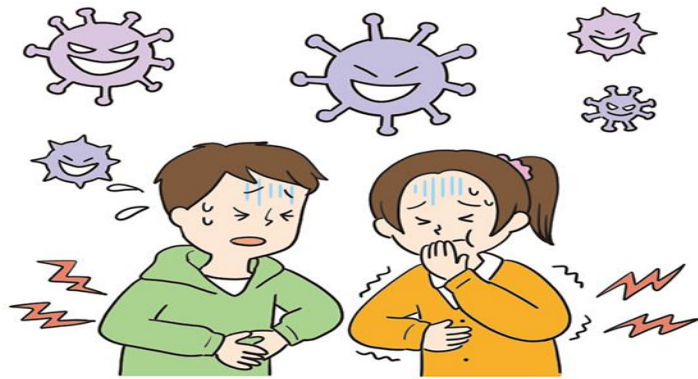


医務室だより 1月



明けましておめでとうございます。今年も健康で充実した1年になるよう願っています。
全国的にインフルエンザ警報レベルの流行期が続いており本学でも、インフルエンザ等の出席停止報告があります。また、感染性胃腸炎も県内の報告数が増加しています。
そこで今回のテーマは「ノロウイルス(感染性胃腸炎)に注意！」についてです。

ノロウイルスに注意!



この時期に気をつけたい感染症の1つに、ノロウイルス感染症があります。ノロウイルス感染症は、ノロウイルスに感染することによって嘔吐、下痢、発熱などの症状を引き起こす病気です。通常は、数日で自然に回復しますが、ノロウイルスは感染力が非常に強いので、周囲にうつりやすいことが心配です。特に、脱水症状をおこしやすい小さな子どもや高齢者がいる家庭では、感染が広まらないように、家族みんなで注意することが大切です。

ノロウイルス対策

ノロウイルス運ぶのはあなたの手

! 手洗いで徹底予防!



見えないけれど…
手にはウイルスが付いていると思っていい!

! マスクで侵入阻止!



ウイルスは見えないけれど…埃や飛沫に付いたり
空気中にもただっていると思っていい!

! 治っても油断しない!



2週間くらいはウイルスの排泄が続きます。
トイレの後は手をよく洗い、感染源にならないように…

加熱

加熱が必要な食品は、中心部まで十分火を通す
(中心部が85～90℃で90秒以上)



感染したらどうなる

潜伏期間: 食べて1～2日で発症
主な症状: 嘔気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱
下痢や嘔吐が続くときは、脱水症状にならないよう水分補強に注意し、病院を受診しましょう

もし、吐いてしまったら

ノロウイルスは感染力が強い上に、アルコール消毒が効きません。そのため、汚染された糞便や吐物、嘔吐者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります(厚生労働省、ノロウイルスに関するQ&A)



感染経路

